

# 地域教育懇談会だより No.2

郡山市教育委員会

平成 27 年2月12日(木)

## 安積南地区「地域教育懇談会」を開催しました



小野義明 教育長

安積南地区「地域教育懇談会」を1月23日(金)午後7時から安積南地域公民館で開催しました。安積第二小学校、安積第三小学校、安積第二中学校、アルゴ幼稚舎保育園、成田保育所の保護者や教職員、地域

### 各課、各センターにおける教育施策の説明

#### 学校管理課

子どもの健康日本一を目指す体力向上推進構想、食育、各種講習会(AED講習会等)

#### 学校教育課

思う存分学べるための各種派遣事業、学校を支援する地域づくり、特色ある教育活動等

#### 教育研修センター

教職員の指導力向上を図る各種研修、情報機器の活用、情報モラル教育の充実等

#### 総合教育支援センター

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、長期欠席児童生徒への対応等

の皆様など、約60名の参加がありました。

前半は小野義明教育長をはじめ、教育委員会事務局職員から、本市の教育行政について説明しました。

後半は、6つのグループに分かれ、「学習習慣や生活習慣を育てる家庭や地域の取組みについて」をテーマに、問題点や対応策について活発な意見交換が行われました。

## グループ協議 「学習習慣や生活習慣を育てる家庭や地域の取組みについて」

グループ協議では、小・中学校のPTAの方、教職員の方に司会・記録等をお願いしました。様々な立場、視点から「よりよい学習習慣・生活習慣を育てる」ための働きかけについて、協議がなされました。

### 各グループでの主な協議内容

#### Aグループ

○学年が上がるにつれ、あいさつができなくなってしまう。お互いを知り合う地域との交流の場を設け、校外でも気持ちのよいあいさつが交わせるようにする。

#### Bグループ

○PCやスマートフォンの利用等で就寝時間が遅い。子どもは自分で抑制することが難しい。親が管理するとともに、子どもが誇れる親になる。

#### Cグループ

○震災以降、子どもの室内での生活時間が長くなった。ゲーム機やスマートフォンの使い方とともに、時間の使い方を家庭で話し合う必要がある。

#### Dグループ

○あいさつができるような子どもを育てるためには、大人が手本を示す。「大人が子どもに元気を与える」ことも必要になってきているのではないか。

#### Eグループ

○問題行動を見かけても、お互いを知らないために注意することにためらいがある。保護者と地域がコミュニケーションを図る必要がある。

#### Fグループ

○親は仕事、子どもは習い事等で会話する時間が減少している。いろいろな集団に参加することで、子どもは大きく成長する。

グループ協議終了後に、記録係の方々から協議内容が報告されました。



グループ発表の様子



グループ協議の様子

### 参考となる取組みや意見が数多く出されました

- 登下校時等の様子を地域で見守り、大人から声をかけたり、あいさつをしたり、模範を示す。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」を合言葉に、スマートフォン等の使用の際のルールを作り、心が温まる朝食で1日を始める。
- 不安や悩み等について、家庭では保護者や祖父母、学校では教師、地域では大人が相談できる関係を築くための時間や場を確保する。
- 本年度からスタートした「地域を生かした教育環境パワーアップ事業」を有効に活用し、子どもとのつながりを深めていく。
- 四季の魅力ある地域の行事を企画・運営し、大人も子どもも楽しむ中で交流を深めていく。
- 学校行事や悪天候による臨時休業、不審者出没等の情報を、電子メール等で積極的に地域の方々へ発信し、連携・協力を図る。
- 本会をきっかけに、定期的に地域での懇談会を開催し、学校やPTA、地域のつながりを深める。